

第86回福島県中央メーデー開かれる

「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け全力で取り組もう！

～あづま総合運動公園に約2,600名が結集～



主催者を代表して挨拶する今泉裕実行委員長

未来のために全力で取り組んで行こう。」と挨拶した。

その後、内堀雅雄福島県知事、金子恵美民主党県連代表代行、小川右善社民党県連代表など来賓の皆さんからお祝いのご挨拶を頂き、続いてメーデー宣言を採択した後、決議文を手交してから今泉実行委員長のガンバロー三唱で式典を終えた。

式典を終えた後、アピールコンテストの審査発表があり、電機連合NECネットワークスプロダクト労働組合が、そのアピール度を評価され見事最優秀賞に輝いた。メーデーイベントは仮面ライダー鎧武との握手会から始まり、福島大学のじゃぐるべパフォーマンス

第86回福島県中央メーデーは4月29日(祝)に晴天のもと、2年振りにあづま総合運動公園に会場を戻し、連合福島並びに労福協傘下の組合員など、約2,600名が結集して開催された。

主催者を代表して今泉裕実行委員長は、「東日本大震災の発生から5年目を迎えた。確実に復興の足音が聞こえて来ている。自ら考え、自ら行動して自立再生への階段を上ろう。また、今年は戦後70年と言う節目の年である。恒久平和を語り継いで、連合運動として継承して行こう。さらに『働くことを軸とする安心社会の実現』に向け、現役の方々には夢を、高齢者の方々には希望を、そして子どもたちの



ご来賓を代表して挨拶する内堀雅雄福島県知事

や、ご当地キャラのももりんや土湯温泉のきぼっちゃんや全労済のピット君など、真夏に近い気温の中、汗だくで観客を魅了していた。

さらに、豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会では、当選された方々が満面の笑みでその喜びを表現していた。また、ふあふあ遊具やミニ鉄道、更には地元の農産物販売、喜多方ラーメン、授産施設作品展即売会など多くの店が出店し、それぞれが大盛況で大変盛り上がったメーデーとなった。



第86回福島県中央メーデーに参加された皆さん